

事業計画書

(記載例)

申出者住所 小松島市〇〇町字〇〇〇番地
申出者氏名 〇〇 〇〇 印

事業者住所
事業者氏名 印

- (1) 農振除外の必然性について（農業振興地域制度に関するガイドライン第16の2の(3)の①のアの要件）

事業計画の内容について

- 事業計画の所在地番・面積（町字地番、除外申出地以外に利用する土地も含む）

	町字地番	台帳地目	現況地目	面積	備考
計 画 地	〇〇町字〇〇	田	雑種地	60㎡	農用地
	〇〇町字〇〇	田	田	100㎡	100㎡の内 50㎡が農用地

- 計画の概要

農家住宅－1棟 二階建て 延べ床面積130㎡（1F：80㎡ 2F：50㎡）
全敷地面積200㎡を計画。

- 計画の目的

長男の住宅を建設するため。

- 計画予定期間

令和〇〇年〇〇月（着工）～令和〇〇年〇〇月（工事完了）

- 造成計画

- ・造成の有無

有 ・ 無

- ・造成の程度

造成工事：令和〇〇年〇〇月〇〇日～〇〇月〇〇日（予定）
敷地周囲を擁壁で囲み、良質の山土で約1.0m盛土をする。
※土地造成計画平面図・断面図の添付でも可

○土地利用状況等から考えた計画の必然性について

県外に住む私の長男が退職を予定し農業の後継者として帰ってくることになりました。長男の子供3人も大きくなり、長男家族5人と私たち老夫婦を合わせて7人で住むには手狭です。また私たち夫婦も高齢であり、また妻は現在入院していますが、退院後は家族の付き添い介護が必要であります。そこで私たち夫婦の近所に長男世帯の住宅を建てる必要があるので申し出ます。

○計画を直ちに実施しなければならない緊急性について

長男は私の妻の介護を理由とした退職を考えています。妻は間近に退院を控えております。また長男の子供は小学校入学前です。できれば入学に間に合わせたいと思います。

○必要とする面積規模が妥当であることの説明

長男家族5人が居住するには延べ床面積130㎡の住居、普通自動車2台は駐車できる敷地面積80㎡が必要です。

(2) 代替性がないと判断される理由（農業振興地域制度に関するガイドライン第16の2の(3)の①のイの要件

○土地選定理由書からの他に利用できる土地がある場合に申し出地でなければ立地できない合理的理由・選定根拠についての説明。（土地選定理由書への記載でも可）

所有している土地は私たち夫婦が現在暮らしている住宅宅地100㎡と、市内に農地がありますが、農地はすべて農用区域に存在します。その中でも我が家に隣接する申し出農地が住宅建設には最も適切であると考えます。

(3) 農地の集団化、農作業の効率化に支障がないと判断される理由（農業振興地域制度に関するガイドライン第16の2の(3)の②の要件)

申し出農地は交差点にあり県道に面しています。画地としては隅にあるための内の集団化に影響ありません。

(4) 農用地の利用集積に影響が出ないと判断する理由（農業振興地域制度に関するガイドライン第16の2の(3)の③の要件)

申し出農地は自己で営農しており、他者と利用権設定は行っておりません。

(5) 土地改良施設の有する機能に支障がないと判断する理由（農業振興地域制度に関するガイドライン第16の2の(3)の④の要件)

申し出地の外周は擁壁で区分し、隣接農地や農業用排水路に土砂の流出が無いように施工します。汚水の処理については、合併浄化槽で適正に処理し、北側の排水路に流出します。既に周辺農地の所有者には事前に相談を了承を得ており、支障が無いよう配慮し、苦情等があった場合は責任をもって対応します。

(6) その他関係法令等の状況（関係行政庁の許可・認可の見込・協議内容）

農地転用（令和〇〇年〇〇月〇〇日確認）

見込・協議・調整内容

農業委員会にて担当者と協議

環境条例（令和〇〇年〇〇月〇〇日確認）

見込・協議・調整内容

3000㎡以内なので問題ない

建築確認（令和〇〇年〇〇月〇〇日確認）

見込・協議・調整内容

依頼している業者が平面図・立面図などを作成し、建築指導課に相談中。

その他（令和 年 月 日確認）

見込・協議・調整内容
